国の債権に係る情報の公表

厚生労働省　（年金特別会計健康勘定）

歳入金債権の発生額及び消滅額等の推移

（単位：百万円）

	平成20年度								平成21年度								平成22年度							
	管理対象債権額			消滅額					管理対象債権額			消滅額					管理対象債権額			消滅額				
		前年度以前発生未消滅債権分	本年度発生分		前年度以前発生分		本年度発生分			前年度以前発生未消滅債権分	本年度発生分		前年度以前発生分		本年度発生分			前年度以前発生未消滅債権分	本年度発生分		前年度以前発生分		本年度発生分	
						うち不納欠損額		うち不納欠損額						うち不納欠損額		うち不納欠損額						うち不納欠損額		うち不納欠損額
合　計	6,815,703	141,455	6,674,248	6,636,513	35,285	8,590	6,601,228	18	6,576,499	181,818	6,394,630	6,355,008	45,750	11,772	6,309,257	32	7,537,964	219,733	7,318,230	7,259,404	66,091	20,606	7,193,313	27
備　考	主な管理対象債権額 保険料債権　6,805,927百万円			主な消滅額 保険料債権　6,626,737百万円					主な管理対象債権額 保険料債権　6,569,071百万円			主な消滅額 保険料債権　6,347,629百万円					主な管理対象債権額 保険料債権　7,357,954百万円			主な消滅額 保険料債権　7,280,028百万円				

※消滅額の項中「うち不納欠損額」は、歳入徴収官事務規程（昭和二十七年大蔵省令第百四十一号）第二十七条第一項各号に該当する金額の合計額であり、消滅額の内数。

歳入金債権の年度末現在額の推移

（単位：百万円）

	平成20年度末現在額									平成21年度末現在額									平成22年度末現在額								
		一般分（徴収停止分を除く。）						徴収停止分			一般分（徴収停止分を除く。）						徴収停止分			一般分（徴収停止分を除く。）						徴収停止分	
		本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計					本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計					本年度発生債権分		前年度以前発生債権分		合計			
		履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	本年度発生債権分	前年度以前発生債権分		履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	本年度発生債権分	前年度以前発生債権分		履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	履行期限到来額	履行期限未到来額	本年度発生債権分	前年度以前発生債権分
債権の種類																											
（部）健康勘定																											
（款）保険収入																											
（項）保険料収入																											
（目）保険料債権	179,190	74,805	1	104,383	－	179,188	1	－	－	221,441	85,363	17	136,060	－	221,423	17	－	－	257,926	90,852	13,431	153,643	－	244,495	13,431	－	－
（款）雑収入																											
（項）雑収入	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－									
（目）返納金債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	0	－	－	－
（目）追徴金債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－									
（目）損害賠償金債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－									
（目）金銭引渡請求権債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－									
合　計	179,190	74,805	1	104,383	－	179,188	1	－	－	221,441	85,363	17	136,060	－	221,423	17	－	－	257,926	90,852	13,431	153,643	－	244,495	13,431	－	－

※計数はそれぞれ単位未満切り捨てによっているので、端数において合計と合致しないものがある。